

厳しい寒さが続いた今年も漸く春の訪れを予感させる兆候が随所に感じられ、景気の回復機運も相俟って明るい季節になってきました。そんな風潮の中、最近海外で日本人がテロの犠牲になる痛ましい事件が連続して起きました。犠牲になられた方には、心よりの哀悼を表したいと思えます。こうした生命の安全が不条理に踏みにじられた事件は、何かやりきれない、いくら気を付けてもどうすることもできないのか という無力感に捉われるものです。これとは別に、本人や周りが気をつけてルールを遵守すれば確実に安全を担保出来るものもあります。電気通信設備工事などは、その例でしょう。今月号のTopicsには、NTTグループ各社の幹部が自らそのルールを実地に受講し、安全先取りの企業風土作りに取り組む姿勢を紹介していますので是非ご一読下さい。(A.N)

4人に1人が発症している花粉症。また、花粉症による労働損失は2,500億円にも上るといわれています。いま、頭がボーとしながら原稿を書いているのも労働損失の1つなのではないでしょうか。このように花粉症改善のため薬を服用することで作業効率が低下することを『インペアード(損なう)・パフォーマンス』というそうです。このため最近では眠くなりにくい薬が発売されています。

しかし一番は花粉を体内に取り込まないこと。最近の研究では肌が乾燥することで皮膚のバリアがなくな

りそこから花粉が侵入、神経を伝い目や鼻を刺激するという報告もされています。このため外で作業する際にはマスクやゴーグルはもちろんのこと、ボディクリームをつけ肌の乾燥から守ることも1つの手かもしれません。

次号の『Raisers』(5月号)が発行されるまで、くれぐれもご自愛なさってください。(H.O)

毎年、発表内容の品質が高まっている関東KAIZENフォーラムですが、その取材で拝聴した元オリンピック金メダリスト・塚原光男先生による「特別講演」が非常に興味深かったです。本誌に要旨を掲載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

さて、オリンピックといえば日本で人気のレスリングが、2030年より除外されるかもしれないということが話題となっています。そもそもレスリングといえば、古代ローマ時代から親しまれてきたオリンピックの原点といってよい伝統ある種目です。これは私の個人的な見解ですが、今のIOC委員はほとんどがヨーロッパ人で占められており、欧州で人気の無い種目だから外されたのではないかと勘繰りたくなります。

国際政治の舞台では犬猿の仲のアメリカとイランが結束し、レスリング復活のためIOCに嘆願書を送付するという動きまであります。素晴らしいことです。

この伝統ある種目を、除外してよいのでしょうか。再考いただきたいものです。(Y.H)

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

投稿をお待ちしています!

- ☆ 本誌ならびに電気通信工事業務に係わる建設的なご意見、ご感想、ご要望等をお寄せください。
- ☆ 400~800字程度
- ☆ 送付先 〒150-0033 渋谷区猿楽町3-3 (一社)情報通信エンジニアリング協会『Raisers』編集委員会
- ☆ 採用させていただいた方には薄謝を進呈いたします。

Raisers第61巻第2号(通巻第699号) 平成25年3月5日印刷 平成25年3月10日発行

定価630円(本体価格600円) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒163-1455 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー13F

Tel. (03) 5353-0184 Fax (03) 5353-0194

■本誌掲載記事の無断転載を禁じます。